

最善の支援とは

成長にあわせた支援

て食事を摂つていただく。
●背面についたてを置き、後ろを振り向いても他の利用者の方が気にならないよう

にする。

すぐに足羽学園でも、これまで続けていた支援を取りやめ、学校と同じよう

みんなが見える場所で、職員が隣に座つて見守るとい

う環境にしてみました。す

り好きなおかずを目標に、苦手なおかずを先に食べていい

りやめ、学校と同じよう

「知的障がい」の中には、一言で片付けられないほど、さまざまな障がいがあります。

またそこには、それぞれの利用者の方の個性もさまざま

まに織り込まれます。

私たち職員は、障がいの特性や個性に合わせた支援を

心がけ、利用者の方々が日々の生活を安心して過ごせる

ように支援をしています。

しかし偏った見方ばかりでは本来の利用者の方の「力」を見失っている可能性があると、気付かされた事例を紹介します。

考えた支援のはず…



Mさんは、足羽学園に入所され5年、養護学校に通う中学部2年生の14歳です。

後ろを気にしたり、壁やガラスを叩いて注目を集めたりして、食事に集中できないこと

いう状況はなかなか改善されずにいました。

しかし、ついたてを動かし、

Mさん自身もみんなと一緒に食事をしているという

実感がわいたのかも知れません。また、みんなが楽しそうに食事をしている姿、一生懸命に食事をしている姿、年長者が年少者をいたわり、食事の介助を手伝っている姿

が見えるようになつたことで、僕も頑張って食べようと思いつきました。

これが今までの食事中の支援を始めたころと比べ、Mさんのコミュニケーション力やさ

もらう気付き

そんなとき、養護学校との懇談会で、Mさんの食事支援について話していたところ、学校では担任の先生が横に座る以外は特別なことはなく、

食事にかかる時間が長いわ

Mさんの過去

Mさんが以前食事をとっていたスペース



また、好き嫌いが多く、苦手なものを食べるのに時間がかかるつていたことも一つの原因でした。

●他の利用者の方から少し離れた場所に一人掛けの机を用意し、窓ガラスに向かつ

て支援を継続していました。

Mさん自身もみんなと一緒に食事をしているという実感がわいたのかも知れません。また、みんなが楽しそうに食事をしている姿、一生懸命に食事をしている姿、年長者が年少者をいたわり、食事の介助を手伝っている姿

Mさんは、周囲の人の動きなどで食事に集中することが難しく、とても時間がかかりました。

中できるように、本人の普段の状況を基に、職員間で知恵を出し合つて支援内容を決めました。

その後ろを気にしたり、壁やガラスを叩いて注目を集めたりして、食事に集中できないこと

いう状況はなかなか改善されずにいました。

Mさん自身もみんなと一緒に食事をしているという実感がわいたのかも知れません。また、みんなが楽し

うに食事をしている姿、一生懸命に食事をしている姿、年長者が年少者をいたわり、食事の介助を手伝っている姿

が見えるようになつたことで、僕も頑張って食べようと思

いがわいたのかも知れません。

はつきりと言えることは、

これが今までの食事中の支援を始めたころと比べ、Mさんの

コミュニケーション力やさ

さまざまな刺激を受けながらも自分の行動に集中することができる力がしつかりと培われていたということです。

私たち職員は、Mさんの以前のイメージに固執するあまり、Mさんの心と体の成長への気付きが浅くなつていたことに、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

そして、利用者の方の心と体の成長にもつと目を向け、これまでの支援が正しいか否か常に検証し、見直していくことの大切さについて、職員間で再認識しました。

お家で過ごしているとき、学校で過ごしているとき、足羽学園で過ごしているとき、友だちと遊んでいるとき、一つひとつの場合にいろんな本があります。その全ての場面で利用者の方は着実に成長を続いているのです。

逃がすことなく、利用者の

家族、学校、職員、その他、利用者の方にかかる全ての人が持っている情報から、成長を感じたり、支援のヒント、利用者の方の思いをくみ取ったりすることができます。

方の可能性を常に探しながら、そのとき、そのときに合わせた最善の支援を考えていきます。

成長にあわせる

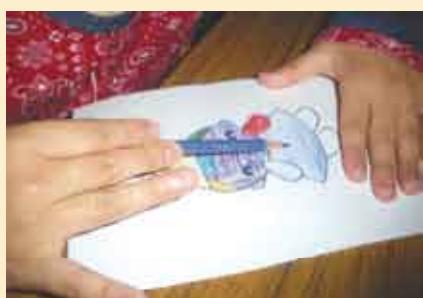


開放的な空間で、他の利用者の方と楽しく食事を摂るMさんの姿

みんなの広場

足羽学園の利用者の方は、日中は養護学校へ行っています。今回は、下校後や休日に行っている余暇活動の一部をご紹介します。

ぬり絵タイム



いろんな色でぬろっと♪



他にも、体育館活動でボーラーやキックボード、縄跳びをして思いおもいに体を動かしたり、フロアで絵本を読んだり、テレビやビデオを見たりします。もちろん、利用者の方同士で仲良くおしゃべりしたり、職員とその日の学校での様子を話したりもしています。

積み木



倒れないように置いて…

